

JOCA

Kyushu Letter

Issue No.25



特定非営利活動法人九州海外協力協会

花田事務局長新年度あいさつ



厳しい冬の寒さに耐えてお彼岸を過ぎると、春の代名詞と謳われる桜の花が心を和ませてくれる季節の到来です。震災から1年が経ちましたが、復興の速度は牛歩の如く遅々としています。政治がもつと主導的に瓦礫の処理を含めた復興に真摯に取り組み、被災地が一日も早く桜を愛でる態勢を整えられるよう声高々に叫びたいと思います。そして、この震災の出来事を風化させることなく、息の長い支援活動を展開するために、公益社団法人青年海外協力協会は、JICAの帰国ボランティアを東北の被災地に派遣しています。ここ、九州からも多くの帰国隊員が協力隊で培った経験とそれぞれの専門性を生かしながら、被災地の復興に取り組んでいます。その活動は、被災地の皆様方から高い評価を得ているとの報告を受けています。今年度は当協会も、これら協力隊経験者集団が行う体験の社会還元事業(国内協力隊事業)にも積極的に取り組んで参りたいと考えております。

福岡県青年海外協力協会OB会活動

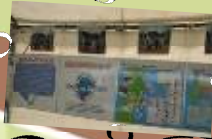
3.11 福岡市「東日本震災復興支援イベント」

2012年3月11日。皆さんはこの日はどの様に過ごされましたか。この日私たちは、福岡市主催復興支援イベント「忘れない3.11～手をつなぎ元気を届けよう～」というイベントがあり、その中で、福岡県青年海外協力協会の出展するブースに参加させて頂きました。皆さん忙しい中、事前打合せを数度となく行い、当日を迎えました。生憎の強風の中でしたが、多くの一般の方々にご来場頂きました。ブースでは、缶バッチ作成・チャリティー物販・世界のコイン仕分け・東北へのメッセージ・世界からの震災支援のパネル展示を行ないました。オリジナル缶バッチ作成や協力隊員が持ち帰った民芸品等を頂き、予想以上の技損金として寄付さ



コイン分けは、空港で金を仕分けする事で、その換金したお金を震ました。様々なコインが仕分けに夢中になり2だいた方もいました。ま本当に多くの方に書いたスペースを遥かにした。このメッセージは島に届けられました。まパネルに関しまして、を頂いたことがわかつこれからも少しづつに
武井

なるかもしれませんが、出来ることを行なっていきたいと思います。



原口 紗季（福岡大学地理学部地球圏学科） 福岡事務所 2月4日～15日

とにかくあっという間に過ぎてしまったインターンシップ生活。大学生生活を重ねるに連れて将来私が何になりたいのか、ということが段々見えてきていました。あるのかわかりませんが地球環境を保護していきながら、世界の人々と交流できるような仕事に就くのが夢です。しかし理学部では、国際交流の機会があまりなく学ぶのも少ないのでインターンシップで参加させていただきました。初日からJICA青年研修事業の一環で外国の研修員と一日中英語を使う機会が与えられ、博物館を併に見学しながら持ってきていた電子辞書を活用しながらコミュニケーションを行いました。異文化の人たちと英語のみで繋がる新鮮さに刺激され、私のインターンシップ生活で得た宝物の一つとなりました。また、二週間携わの中で資料を主に作成しましたが、工夫しようとするほど時間が掛かり、裏で働く側の気持ちや苦勞がわかりました。気づく事がたくさんあり、毎日毎日成長ができ、とても面白く楽しいインターンシップ研修でした。



久保田香菜（福岡女学院大学短期学部英語学科） 福岡事務所 2月14日～24日

JOCA九州さんの方で様々な体験をさせて頂き、自分と向き合うための大切な機会を与えて頂いたことに、とても感謝しています。仕事内容は幅広く、事務所の方々へのお茶出しから始まり、事務所内の整理整頓・パソコンを使用した事務処理・展示の準備・交流会のサポートや見学・電話対応、そしてプレゼンなどです。学校では経験出来ない事ばかりです。また、仕事だけではなく、休み時間に職員さんや他のインターン生と話したりすることも貴重な体験でした。インターンシップを通して成長することは勿論、今後の人生に今回得たものを活かしていけたらなと思っています。



劉 双（福岡女学院大学人文学部表現学科マスコミ専攻） 福岡事務所 2月20日～28日

2009年10月に中国の山東省から参りました留学生の劉と申します。福岡には近いのですが、国々の文化差があり、驚きながらも日本生活に慣れていきます。留学生にとっては、インターンシップはチャンスであり、チャレンジでもあります。私は、国際関係の仕事をしたいという夢をずっと持っており、国際協力の事を知る機会になりました。七日間のインターン生活はあっという間に、最後になりました。私のようなインターン生たちは同じことを思っているでしょう。福岡事務所と北九州事務所のスタッフの皆さんには温かく対応していただきました。またJICA海外研修員と小学校の交流プログラムに参加したり、事務所整理、英語で書いたアンケートを訳したりなど様々な経験させていただきました。就職活動中の私にとっては、貴重な社会人体験であり、このような経験を生かして社会で頑張っていきたいと思っています。



安藤 俊一（久留米大学法学部国際政治学科外国語専攻） 北九州事務所 2月16日～24日

今回のインターンを終えて、自分に足りないもの、これから必要なもの、というのが分かった。もちろん国際協力に興味があり参加させてもらったのですが、漠然と支援できたらなとか貢献できたらなとか思っていた。でもそんな曖昧な考えでは何も出来ないし役にも立たない。したい、ではなく自分に何が出来るかを身につけなくてはと思ったし、まずはコミュニケーションの英語をマスターしなければと痛感した。初めて社会に出させてもらい、分からないことばかりだった。だから素直な気持ちで分からないことを尋ねる、質問するという言わば基本の大切さを身を持って学びました。ありがとうございました。



張彬芳（九州共立大学経済学部経済経営学科経営専攻） 北九州事務所 3月13日～23日

留学生の私を受けていれていただきありがとうございます。とても短い期間でしたが、本当に色々勉強になりました。元々、この国際交流の仕事内容やNPO企業での仕事に興味を抱いており、ここに来ました。答えは全部見つけました。この仕事は人間としての価値を最大限に発揮できる仕事だと思います。世界を変える、自分を変える仕事だとも思います。これだけでなく、日本語の勉強とか、日本人の仕事に対する処理方法とか、社会人としての必要な素質などなどたくさん勉強になりました。皆さんがとても親切で、勉強と同時に、楽しかったです。どうもありがとうございました。



アフリカ混成青年研修

11カ国から来日

去る1月27日から2月8日まで、アフリカ各国から合計24名の教育関係者が来日し、日本の教育現場視察や博物館、科学館等の視察を行いました。

福岡ではちようど雪が降り積もる中研修を行う事となりました。その中で、福岡市教育委員会では、小学校で実施されている「挨拶・掃除・自学・立志」のスローガンの重要性とその目的に関する事等の講義を受けました。その後、西花畑小学校・庄内中学校・純真高等学校をそれぞれ訪問させて頂きました。其々の現場では授業見学、生徒との交流、先生方との意見交換会を実施しました。其々国が異なれば、教育問題も異なり、研修員からは活発な質問や意見交換の場となりました。最終日にはこの研修で得た知識や経験を基に、どの様に「自国」で活かしていくかというアクションプランの発表を行ない、全ての研修が終了しました。最後に、この研修では本当によくの方のご協力を頂きました。本当にありがとうございました。（武井）



中学生エッセイコンテスト表彰式

2月18日(日)に中学生エッセイコンテスト表彰式がJICA九州で行われました。昨年度からOB会長賞の授与も行われ、各県OB会長も授与者としてご出席いただきました。今年度は、57名の受賞者が参加され、同行者をいれると、総勢100名以上の出席となりました。

授与式の後は、交流会をJICAレストランにて行いました。協力隊OB、JICA研修員と受賞者がテーブルを囲み、異文化交流をしました。「研修員へ一生懸命会話をしようとする学生の姿がとても印象的でした。」「今回色々な国について知れてよかった」というご意見をたくさんいただきました。今回のエッセイコンテストで、多くの中高生のみなさんが国際協力の一歩を踏み出すきっかけとなれば嬉しいです。

後藤



JICA九州センター訪問

1月31日～2月2日と三日間にわたって、北九州市立、尾倉中学校と中原中学校の生徒さん達がJICA九州を訪れ、職場体験を行いました。国際協力に携わる現場を見ることによって、また、協力隊の体験談を聞くことによって、それぞれとても刺激を受けた様子でした。これからの進路について、また、将来の夢について、しっかりと考えている様子にこちらが感心しました。フロント業務体験や図書館業務の体験も、学校ではなかなかできない体験に先生方の満足も大きかったようです。

森川



マダガスカル事業調査報告



平成24年2月7日から2月14日まで、マダガスカル希少動物保護事業の現地調査を実施してきました。今回の調査団は、北九州市公園管理課より2名、到津の森公園の飼育員が1名と私の合計4名でした。ミッションの内容は、協定書の更改、動物輸入手続きに関わる部署との協議、飼育やエサの研究に関する進捗状況の確認を行ってきました。現地では、環境森林省や高等教育・科学研究省の大臣にお会いしたり、到津の森公園の飼育員さんからチンバザザ動物園へのスライドを使った興味深いプレゼンテーションや交流会なども行いました。来年度は、本格的に輸入手続きが始まります。到津の森公園にマダガスカルから新しい仲間が加わるのも、そう遠くはないかもしれません。

田淵

クバーラもアツイ！
検索「クバーラ」



2月18日(土)～2月26日(日) 「世界をつなぐ写真展」at サンリブくりえいと宗像

2年ぶりに宗像市で「世界をつなぐ写真展」を開催しました。年末年始に行なった福岡空港での写真展とは違って、会場内にテーブルを設け、来場者とOVがお話できるスペースを作り、アットホームな雰囲気を作りました。当日は、一昨年度も見に来てくださった方に声をかけていただいたり、出展者のOVが突然訪ねてくださりお話をさせていただいたり、いろいろな交流が生まれました。ご協力いただいたOVのみなさん、本当にありがとうございました。

来年度は協力隊OB 会ともっとたくさんの交流を計りながら、より魅力的な写真展を演出していきたいと思っております。

田中



2月18日(土)～2月26日(日)
11:00～18:00
サンリブくりえいと宗像 2階
パブリックスペース

ボランティア家族連絡会

【福岡1月22日 / 熊本1月29日 / 鹿児島2月11日】

今回も大勢の派遣中隊員ご家族に参加していただき、ボランティア事業の概要はもちろんですが、同じ県内にいるご家族同士が交流することの出来る有意義な会となりました。特に福岡は派遣中隊員の数も多く、関係者を含めて90人近くが集まりました。中には同任国・同任地で活動している隊員のご家族もいらっしゃって、お話が盛り上がりました。また、最近はインターネットや携帯電話の普及で、途上国にいるご家族と小まめに連絡を取り合える環境になっていますが、在外事務所を通じて集めた、派遣中隊員の活動報告およびご家族へのメッセージは、皆さん興味深く見ていらっしゃいました。鹿児島を最後に、今年度の家族連絡会は無事に終了することができました。ご協力下さった関係者、およびご出席していただいたご家族の皆様、本当にありがとうございました。 田中

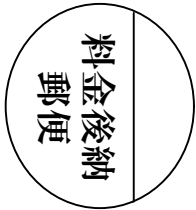
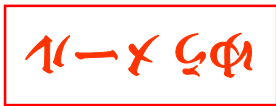


退任ご挨拶

お世話になった皆様へ

3年間半という長い間、大変お世話になりました。会員の皆様、そして協力隊OVの方々には沢山のパワーをいただき、そして楽しく活動をさせていただきました。主に出前講座を担当していましたが、多くの方々に積極的に参加していただけたことは、大変ありがたい瞬間でした。今後は、長崎大学へ進学いたします。長崎でもできる限りOV会等のサポートをしていきたいと思っておりますので、引き続き今後ともよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

後藤 久美子
(18年度1次隊ガーナ派遣)



特定非営利活動法人九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館
2F AB号室
TEL:092-415-6536
E-mail:ngogshuint@joca-kyushu.or.jp

NPO JOCA Kyushu 会員募集

元青年海外協力隊員が組織運営している、(特活)九州海外協力協会にご協力よろしくお願ひします。

平成24年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

個人	正会員	3000円	賛助会員	2000円
団体	正会員	10000円	賛助会員	10000円
法人	正会員	30000円	賛助会員	10000円

**平成24年度春募集
青年海外協力隊&シニア海外ボランティア
4月1日~5月14日**

- 1日 福岡 アクロス福岡 JV&SV 14:00~16:00
- 6日 長崎 アルカスSASEBO JV 18:30~20:30
- 7日 熊本 国際交流会館 JV&SV 14:00~16:00
- 8日 鹿児島 県民交流センター JV&SV 14:00~16:00
- 12日 福岡 アクロス福岡 JV&SV 18:30~20:30
- 14日 大分 コンパルホール JV&SV 14:00~16:00
- 14日 熊本 国際交流会館 JV 14:00~16:00
- 15日 宮崎 市民プラザ JV&SV 14:00~16:00
- 15日 久留米 石橋文化会館 JV&SV 14:00~16:00
- 18日 北九州 JICA九州センター JV&SV 19:00~21:00
- 21日 佐賀 アバンセ JV&SV 14:00~16:00
- 22日 長崎 交通会館 JV&SV 14:00~16:00
- 27日 鹿児島 勤労者交流センター JV 14:00~16:00
- 28日 北九州 JICA九州センター JV&SV 14:00~16:00